

## 転入された方や結婚・出産・子育てを支援する 『いきいきふるさと推進事業』をご存じですか？

中頓別町では、住民の定住化と本当の豊かさを分かち合う温かいまちづくりを推進していくことを目的として「いきいきふるさと推進事業」を実施しています。住民の方々や転入された方々に対して温かい歓迎の気持ちを含めて以下の事業を行っています。いつでもお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ 政策経営課政策経営グループ (01634-8-7671)

### 移住定住促進事業

#### 就職祝い金

【対象】 中学、高校、大学等を卒業もしくは退学、又は中頓別に転入の届出をした方のいずれかであり、以下の要件を満たす方

- ① 5年以上の就業見込みがあること
- ② 卒業、退学又は転入した日から1年以内に町内の事業所に就職していること、若しくは町内の事業所に就職した者で就職してから5か月以内に転入の届出をした方
- ③ 公務員ではないこと
- ④ 就業先が転勤を伴う事業体でないこと  
(広域の事業体であっても転勤の見込みがない方は対象)
- ⑤ 就職したことに対する国や道の補助金等の交付対象者ではないこと



【内容】 中頓別町商工会商品券5万円分

【手続き】 事業所より申請書を提出していただき、後日交付します。

【申請期日】 就職から6か月以内

### 結婚支援事業

#### 結婚祝い金

【対象】 婚姻届が提出された時点で夫婦ともに、または夫婦のいずれかが本町に住民票があり、引き続き居住することが明らかな方

【内容】 夫婦一組30万円

【申請期日】 婚姻届提出後、なるべく速やかにご申請ください。

【その他】 町外で婚姻届を提出した際は、婚姻後の戸籍謄本を提出していただく場合があります。





## 子育て支援事業

### 出生祝い金

- 【対象】 出生届が提出され、新たに町民となったお子さん
- 【内容】 第1子・第2子：10万円（商品券5万円含む）  
第3子以降：30万円（商品券5万円含む）



### 紙オムツプレゼント

- 【対象】 出生届が提出され新たに町民となったお子さん、または転入された1歳未満のお子さん（月齢により交付内容が変わります）
- 【内容】 紙おむつ1000枚、燃やせるごみ袋10枚入×10包
- 【手続き】 おむつの注文票を提出していただき、後日交付します。  
1歳の誕生日になるまでに数回に分けてお渡しすることも可能です。
- 【申請期日】 出生についてのお手続き、または転入についてのお手続きが済み次第、なるべく速やかにご申請ください。



### 絵本プレゼント

- 【対象】 町内に居住している1歳、1歳半、3歳に達するお子さん
- 【内容】 絵本2冊ずつ、ボランティアさんによる絵本の読み聞かせ
- 【手続き】 乳幼児健診時に会場で選んでいただき、在庫があればその場でお渡しします。



## 就学支援事業

### 高等学校等通学家庭補助事業

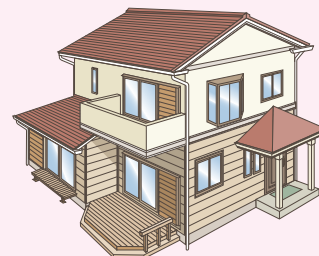
- 【対象】 北海道浜頓別高等学校以外に通学する生徒を持つ保護者
- 【内容】 中頓別町商工会商品券10万円分交付
- 【手続き】 在学を証明する書類（在学証明書や生徒手帳内の身分証明書）と申請書を提出してください。
- 【申請期日】 入学又は進級した年の12月まで
- 【その他】 補助は3年を限度に受けることができます。



## 中頓別町空き家バンク制度

【目 的】 中頓別町に転入してくる方や自然の中での暮らし、いなか暮らしを求める人に対して、町内にある空き家物件の情報提供をすることで町外からの定住促進と空き家の有効活用を図ることが目的です。

【注 意 点】 ここでの情報は不動産取引にかかるような行為ではありません。あくまでも借受希望者に対象物件の所有者を紹介することを目的としています。町は当事者間で起きた問題については一切の責任を負いません。



お問い合わせ 政策経営課政策経営グループ (01634-8-7671)

## 海上保安庁では、令和7年4月採用の職員（海上保安大学校学生）を募集します。

### 受付期間

インターネット：8月22日（木）～9月4日（水）

### 試験日程

第一次試験：10月26日（土）、10月27日（日）

### 受験資格

令和6年4月1日において高等学校を卒業した日の翌日から起算して2年を経過していない者及び令和7年3月までに高等学校を卒業する見込みの者

### 海上保安庁職員採用のホームページアドレス及びQRコード

<https://www.kaiho.mlit.go.jp/recruitment/>

### 問い合わせ

詳細については、  
稚内海上保安部管理課（TEL：0162-22-0118）  
まで問い合わせください。



海上保安庁シンボルマスコット  
「うみまる」

## 第3号 第2回幸福度アンケート調査の分析状況①について

今号は、2020（R2）年調査（以下「R2調査」）と、2023（R5）年調査（以下「R5調査」）で回答いただいた同一人物にどのような回答の変化が見られたかをお知らせします。

R2調査の幸福度の平均は6.84（520名）で、R5調査の6.85（180名）とほぼ変わらない結果でしたが、R2調査の時にR5調査では回答していない方も含まれていたため、「R5調査で幸福度を回答し、かつ、R2調査にも回答している174名」の幸福度を再計算すると、R2調査の幸福度平均は7.14で、R5調査と比較すると0.29ポイント低下している結果でした。

### ■中頓別幸福度調査のパネルデータでの幸福度の変化

R2調査	R5調査
7.14（174名）	6.85（180名）
6.84（520名）	

両調査の同じ174名のうち、幸福度の変化についてその割合をみると「①変化はない」が38.5%、「②上昇した」は26.4%、「③低下した」は35.1%でした。

幸福度が低下した方では、男性に比べ女性の割合が37.4%と高く、年代別で見ると20歳代60.0%、40歳代40.0%、80歳以上42.6%と4割以上でした。

### ■幸福度の変化（n=174）

幸福度変化	件数	割合
①幸福度の変化はない	67	38.5%
②幸福度が上昇した	46	26.4%
③幸福度が低下した	61	35.1%
合計	174	100.0%

幸福度の変化にもたらされている影響を考察するため、幸福度の変化と各設問のクロス集計を行ったところ、日常の暮らしの中で不安に感じることは、「6. 健康上の不安」の割合が最も高いことを踏まえて、幸福度の変化別に着目すると、幸福度が低下した人では「6. 健康上の不安」の割合が37.7%と、幸福度の変化はない人や上昇した人に比べて高くなっている。

### ■暮らしの不安別・幸福度の変化（n=174）

	幸福度の変化 R2調査⇒R5調査			合計	割合	
	幸福度の変化はない	幸福度が上昇した	幸福度が低下した			
暮らしの不安	1. 経済的な不安	8 11.9%	11 23.9%	12 19.7%	31 17.8%	11.9% 23.9% 19.7%
	2. 地震、豪雨等の災害に対する不安	1 1.5%	3 6.5%	2 3.3%	6 3.4%	1.5% 6.5% 3.3%
	3. 人口減少に対する不安	10 14.9%	3 6.5%	8 13.1%	21 12.1%	14.9% 6.5% 13.1%
	4. 国際情勢に対する不安	1 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%	1.5%
	5. 地震、豪雨等の災害に対する不安	4 6.0%	3 6.5%	3 4.9%	10 5.7%	6.0% 6.5% 4.9%
	6. 健康上の不安	21 31.3%	14 30.4%	23 37.7%	58 33.3%	31.3% 30.4% 37.7%
	7. 防犯・治安に対する不安	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	8. 子育てに対する不安	0 0.0%	0 0.0%	1 1.6%	1 0.6%	1.6%
	9. 介護に対する不安	9 13.4%	0 0.0%	1 1.6%	10 5.7%	13.4% 1.6%
	10. 教育・学習環境に対する不安	0 0.0%	1 2.2%	0 0.0%	1 0.6%	2.2%
	11. その他	2 3.0%	4 8.7%	1 1.6%	7 4.0%	3.0% 8.7% 1.6%
	無回答	11 16.4%	7 15.2%	10 16.4%	28 16.1%	16.4% 15.2% 16.4%
合計	67 100.0%	46 100.0%	61 100.0%	174 100.0%		